

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	食育・体験農業指導及び生産者・消費者の交流事業
事業主体 (連絡先)	農業生産法人(株)今井恵みの里
事業区分	産業振興雇用拡大に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	4,959,524 円 [※] (うち支援金： 2,785,000 [※] 円)

事業内容

食育事業

- ①小学生に地域の特産であるりんご・米づくりを年間を通じて学んで貰い 生産した農産物をどのように販売するのも体験した。
- ②市民農園で市民や消費者に野菜の種まき・定植・果物の摘果・袋かけ・収穫等の農業体験に取り組み、農業・農産物に対する理解を得た。

交流事業

- ①消費者を対象に小学生がりんごの対面販売を実施した。
- ②野菜の持つ機能講習会と地元野菜を使用した料理の試食交流会を春秋の2回開催し、地産地消の推進に取り組んだ。
- ③地元産米の消費拡大を目的におにぎりチャレンジ試食会を2回開催。
- ④生産者の売る感覚を養成するため年間を通じて生消交流販売を実施した。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

食育事業

地区の基幹産業である農業に関心を持ち、将来農業を担う人材となり得る指導・教育ができた。

地区の農業に対する理解や地元農産物を知り、応援してもらえる機会となった。

交流事業

子供達が作った農産物を消費者と交流しながら自ら販売する貴重な体験ができた。

春秋2回、農家の女性が地元野菜を使用した料理を作り 300名を越す消費者との交流試食会開催し、野菜の持つ機能や健康に対する講習を通じ「農業の大切さ、食の楽しさ」をアピールすることができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

次年度以降も内容を充実させ引き続き継続して、地域農業や地元農産物をアピールして地産地消を更に推進していきたい。



【食育事業・交流事業】

【目標・ねらい】

- ①食育を通じて農業・農産物の理解を確保
- ②作るだけでなく販売する感覚の育成
- ③地産地消の理解と推進
- ④農業サポーターの拡大

※自己評価【A】

【理由】子供達全員から感想文が届き、農業の大切さや将来農業をやりたいとの意見も多くあり、関心を持ってもらうことができた。消費者からは野菜の栽培の指導や料理のレシピに対する意見要望がたくさんきている。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある